



学生に寄り添い、
誰一人も取り残さない大学でありたい

宇都宮大学長 石田 朋靖



基本姿勢

「学生に寄り添い誰一人取り残さない」
 対策本部会議（学長、全理事、医師）のガバナンスによる迅速な対応

総ぐるみでの支援



コンセプト

- 1 オンライン教育を魅力的なものにする + オンキャンパスの対面教育を可能な限り実施 ▶ 教育の質保証
- 2 学生を孤立させない ▶ メンタルケアやエール
- 3 経済的な困難に対しできるだけ支援する ▶ 経済的支援

1 教育の質保証 「安全・安心」と「学修効果」のバランス

パソコンを所有していない学生に対しノートパソコン75台を無償貸与 ▶ (株)TKCから現物寄附

【前期授業】

- 講義はオンラインで（4/20～）
- 実験・実習・実技など対面で開始（7/6～9/30）
▶ 「対面授業実施に向けたガイドライン」

【後期授業】

- 実験、実習、実技を10月にまとめて対面で実施
▶ 冬季の感染拡大を回避
- 対面講義を実施（10/29～12/25）
▶ 必修科目を中心に可能な範囲で
- 大人数の講義等はオンラインで（10/1～1/31）

授業改善に活用

学長から学生のみなさんへのお手紙

～ 略 ～

長い手紙になってしまいました。宇都宮大学の教職員は、「学生に寄り添い、誰一人取り残さない。」そんな思いを共有しながら、みなさんを育てていきたいと思っています。苦しい状況は続きますが、一緒に乗り越えていきましょう。

令和2年8月7日

宇都宮大学学長 石田 朋靖

エールを公式HPトップに掲載 + 全学生に郵送

学生及び教員に「メディア授業アンケート」

▶ 全学FDの日に結果を報告

全学FDの日に教育のオンライン化に関するシンポ

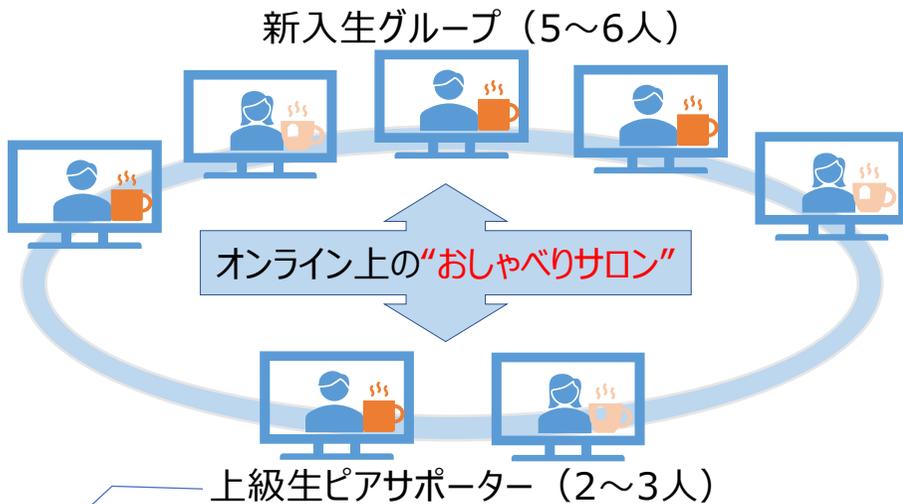
▶ あらたな教育の姿

▶ オンライン講義のレベルアップ

▶ よい例、悪い例を実際に実演

2 メンタルケア

学生ピアサポーター制度



- オンデマンド式研修会
 - ▶ 責任意識の涵養
- 2万円/人の奨学費を支給
 - ▶ 経済的支援

総勢390名

学長から全新生への対面でのメール発信

新生クラスの対面授業に学長が出向き、
全ての新生生にメールを発信



学長・副学長等による各地域での学生・保護者ガイダンスの実施

学長・副学長と学部教員が各地域に出向き、1年生を中心とした学生・保護者へメール発信と個別面談

- ▶ 大学との繋がりを実感、不安の払拭

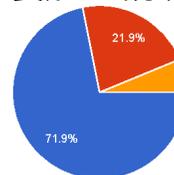
第1弾：9月 東北6県7会場

仙台市、盛岡市、山形市、
福島市+郡山市、秋田市、青森市



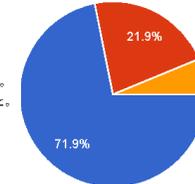
学長・副学長からの説明

- 大変よく分かった。
- よく分かった。
- まあまあ分かった。
- あまり分らなかった。
- 分らなかった。



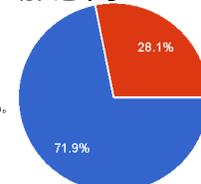
個別懇談

- 大変良かった。
- 良かった。
- まあまあ良かった。
- あまり良くなかった。
- 良くなかった。



今後の参加意向

- 是非参加したい。
- なるべく参加したい。
- 参加したくない。
- 懇談会の内容による。



◇参加者の主な要望・感想

- ▶ 直接話を聞き・伝えることができたことで、不安が解消されました。
- ▶ 一年生は、大学に通えておらず、先輩がいない状態です。ピアサポーターのような繋がりが、今後も増えていくと良いと願っています。
- ▶ コロナ禍で大学としての対応や誠意が伝わりました。
- ▶ 社会にとって不可欠な、人との関わり方を学べる機会を増やしていただけたら幸いです。ピアサポートもよい企画ですが、都度振り返りを行いながらより良い仕組みになっていくことを期待しています。
- ▶ 学長をはじめ、懇談の先生もとてもフレンドリーで安心しました。
- ▶ 一年生で、経験出来たはずであろう行事等を、今後何かしらの形で実現していただけたらと思います。

第2弾：10月11日 関東・中部9県5会場

栃木・埼玉：宇都宮大学、群馬・長野・新潟：高崎市、
静岡・山梨：静岡市、茨城・千葉：土浦市

3 経済的支援

2億円の緊急学生支援パッケージ

- ▶ 地元経済界との太いパイプ
- ▶ 宇都宮大学3C基金の活用



緊急奨学金 給付型

第1弾

▼ 日本人学生向け

10万円を300名に給付
財源内訳

「飯村緊急チャレンジ奨学金」

- ▶ 飯村慎一氏
(光陽エンジニアリング(株)会長)

「飯塚緊急奨学金」

- ▶ 飯塚真玄氏 ((株)TKC名誉会長)

「3C基金 緊急学生支援基金」

- ▶ (教職員や学外者)



「飯村緊急チャレンジ奨学金」飯村慎一氏



「飯塚緊急奨学金」飯塚真玄氏

▼ 外国人留学生向け

5万円を100名に給付
財源内訳

「増山緊急奨学金」

- ▶ 増山律子氏 (株)ランスタッド名誉会長)



「増山奨学金」増山律子氏（右）

第2弾

36万円を30名に給付 「飯村チャレンジ奨学金」を増枠

第3弾

緊急奨学金（給付型）追加募集 【計画中】

一時貸与制度の創設 無利子

▼ 日本人学生向け 25万円(上限)を200名に貸与

ノートパソコンの現物貸与 75台が二週間で供給

パソコンの保有は、オンラインでの一年生必修のデータサイエンス教育等に不可欠。

- ▶ 新入生アンケートで70名以上が不所有・購入困難と判明

▶ (株)TKCから75台の現物寄附

(約2,700万円相当) ▶ ((株)TKC 角一幸会長)



「パソコンの現物寄附」角一幸氏

働く場の提供による経済支援

大学院学生のTA（ティーチング・アシスタント）、RA（リサーチ・アシスタント）、学部生のSA（ステューデント・アシスタント）の雇用を拡大

データ集計やレポート採点などオンラインに適した業務内容を設定

学生ピアサポートのサポーター

▶ 2万円×390名 P2参照

授業料免除の追加募集

▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い家計が急変した学資負担者に対し授業料免除を追加募集

授業料納付期限の延長

- ▶ 前期納付期限【通常】5月末 ▶ 【変更後】7月末
- ▶ 後期納付期限【通常】11月末 ▶ 【変更後】1月末

緊急学生支援パッケージの概要

緊急学生支援パッケージは、ホームページのトップページにバナーを置くなどして、多くの学生が支援を受けられるように広く周知



新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急支援策 **総額約2億円**

緊急学生支援パッケージ

緊急奨学金（給付型）

生活支援を要する状態となった学生に支給します。



第一弾

▼日本人学生向け

10万円を300人に給付 5月支給済

- ・「飯村チャレンジ緊急奨学金」（寄附者：飯村 慎一氏）
- ・「飯塚緊急奨学金」（寄附者：飯塚 真玄氏）
- ・「宇都宮大学3C基金」



▼留学生向け

5万円を100人に給付 6月支給済

- ・「増山緊急奨学金」（寄附者：増山 律子氏）



第二弾

36万円を30人に給付 7,8月支給済

- ・「飯村チャレンジ緊急奨学金」増枠（寄附者：飯村 慎一氏）

第三弾

緊急奨学金（給付型）追加募集 計画中

一時貸与制度の創設（無利子）

生活や修学が困難となっている学生に、無利子貸与します。

上限25万円を200人に貸与 継続中

授業料免除 前期9人追加

実施済

授業料納付期限の延長

[前期] 5月末日 → [変更後] 7月末日 実施済

[後期] 11月末日 → [変更後] 1月末日 実施予定



働く場の提供を通じた経済支援

継続中

大学内で学生アルバイトを雇用します。（TA、RA、SA）

ノートパソコン75台を貸与

（寄附者：株式会社TKC）

5月実施済



学生ピアサポート制度

継続中

2年生以上のサポーター390人が新入生を支援します。

